

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 5年 3月 3日

事業所名 Berry Join

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		見通しの良いワンフロアの室内で子どもの様子がよくわかる。	
	2	職員の配置数は適切である	○		お互いに学びあえる環境	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		子ども達が動きやすく、安全を考えている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ゆっくりスモールステップを目標に日々振り返りに努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		積極的に行われている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページより、日々のダイアリーで見て頂く事を大事にしている。	ホームページでの公開も必要に応じて対応する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		第三者機関による外部評価を行い、公正に努めている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修を定期的に行っている。	社内研修とは別に、外部研修にも積極的に参加する。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的にカンファレンスを徹底し、ニーズの課題を見直している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			更に充実させるよう専門的な資料を増やしていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別でのプログラムを工夫している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎日違う活動を導入している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		静と動の活動に加え、食育活動を定期的に行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		カンファレンスとは別に、指導員間でのミーティングと確認を行っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		活動様子や、その日の子どものトピックスをスタッフで共有し、次の活動に繋げられるようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		指導員間で日々、確認を行い記録している。	全職員が作成出来るよう確認を行っていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者との連携を大切にしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		様々な角度からの支援を意識している。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在医療的ケアが必要な利用者が居ないが、看護師の配置をしている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		常に情報共有をするよう心掛けている。	クラス変更や進学に向けての情報共有も視野に入れていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在まで該当がありません。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		その都度連絡し助言を求めている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	利用者のニーズが無く、不必要と思われる方が多い為控えている。	コロナの感染防止の為、積極的に活動出来なかったが、今後は視野に入れていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		コロナの感染防止の為、積極的に活動出来なかったが、今後は視野に入れていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際や電話、面談でフィードバックを行い、共有する時間を設けている。	コロナ禍の為参加出来る機会が少なかったが、今後積極的に参加する。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		コロナ禍で難しかったので、今後保護者と密に関わるよう心掛けていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際、規約等の説明を丁寧に行っている。	更に分かりやすい説明が出来るよう心掛ける。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍で難しかったので、今後は保護者と必要に応じて関わられるよう心掛けていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のお便りなど、文章での配信を中心に必要に応じた情報配信をしている。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の扱いの大切さを常に言葉にて、指導にあたっている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		様々な災害・不審者を想定し、避難訓練を実施、指導員も素早く対応出来るようにしていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		様々な資料を増加し、研修を行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	しっかりと保護者に説明した上で記載をしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	緊急連絡票にて保護者に記入して頂いている。	全指導員がマニュアルをしっかりと把握し、緊急対応が出来るように研修を行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	指導員で必ず共有している。	